

例話 6 年度第 3 回奥州市上下水道事業運営審議会 会議録

会 議 の 名 称		令和 6 年度第 3 回奥州市上下水道事業運営審議会		
開 催 日 時		令和 7 年 1 月 15 日（水）午後 2 時～ 3 時		
開 催 場 所		江刺総合支所 旧全員協議会室	公開の可否	可
事務局（庶務）		上下水道部経営課	傍聴者数	なし
委 員	出 席 者	境田洋春、及川和人、内田直史、千田喜久雄、伊藤千恵、小沢利彦、 及川瑞江、松本京子、佐藤久喜、高橋文香、高橋寿幸、佐藤有紀 （以上 12 人）		
	欠 席 者	柏山裕司、松好悦子、若槻慎也（以上 3 人）		
市（出席者）		齊藤理上下水道部長、 経営課：吉田俊彦課長、大越克芳課長補佐、 菅野英樹下水道経営係長、小蘭江匡博主任 水道課：佐々木啓二課長、近藤天雄主幹 下水道課：菊地康課長、伊藤秀紀課長補佐（以上 9 人）		
議 題		下水道事業経営戦略の改定について		
備 考				

会 議 内 容		
件 名	結 果	特記事項
下水道事業経営戦略の改定について	改定（案）を了承	

（吉田経営課長）

本日はお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、本日の欠席委員及び定足数を報告します。本日欠席のご連絡をいただいておりますのは、柏山裕司委員、松好悦子委員、若槻慎也委員の 3 名で、現在の出席委員は 12 名となりましたので、奥州市上下水道事業運営審議会条例第 5 条第 2 項の規定によりまして、委員の半数以上が出席しており、会議が成立しておりますことを報告いたします。

またここで委員の皆様にお詫びを申し上げます。前回の審議会におきまして、第 3 回審議会の開催時期は令和 6 年中に開催するとお伝えしておったところでございますけども、今般の経営戦略の改定版の素案作成に、想定よりも時間を要してしまい、年が明けた本日の開催となってしまいました。委員の皆様にお詫びを申し上げます。

【開会】

（吉田経営課長）

それではただいまより令和 6 年度第 3 回奥州市上下水道事業運営審議会を開会いたします。

【挨拶】

（吉田経営課長）

審議に先立ち、始めに市長に代わりまして、齊藤上下水道部長よりご挨拶を申し上げます。

（齊藤上下水道部長）

まずもって、新年あけましておめでとうございます。本年もひとつよろしくご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

市長・副市長につきましては、別の業務がございまして、本日出席できかねるということで、私の方から代わってご挨拶を申し上げたいと思います。

本日は、まず足元の悪い中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、上下水道事業に関しまして、貴重な意見を賜っていること感謝申し上げます。前回の運営審議会におきましては、特別アドバイザーとして、菊池明敏様にもご出席を賜りまして、本市の置かれている経営環境の状況、厳しい状況や今後の方向性、そして全国の最新の動向など、専門的な知見からアドバイス等いただきながら、経営戦略の改定に当たり、全体の方針をご説明させていただいたところでございます。

委員の皆様からも、所感を含めて多くのご意見をいただいたところですが、全体のまとめいたしまして、概ねご理解をいただいたのではなかろうかと事務局では捉えているところでご

ざいます。

本日は第3回の運営審議会となります。前回いただいたご意見等に対する見解をお示ししながら、下水道経営戦略の具体案についてご説明を申し上げ、皆様方からご意見をいただきたいと考えているところでございます。様々な角度から意見交換がなされまして、よりよい戦略となるよう、活発な審議をお願い申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(吉田経営課長)

続きまして、境田会長よりご挨拶をいただきます。境田会長よろしくお願い致します。

(境田会長)

今年もどうぞよろしくお願いいたします。まずもって委員の皆様には大変ご苦勞さまでございます。経営戦略の改定に係る前回までの審議会では、骨子について説明がございました。本日は事前の送付がありましたが、40枚程度の資料、なかなか理解するのには難しいところがありますが、その素案につきまして、概要版において説明があります。前回参加をしていただいた外部アドバイザー、総務省経営・財務マネジメント強化事業アドバイザーの菊池明敏様から、奥州市の下水道事業、経営状態は大変厳しいと見られたというふうなところ、そして次の世代に負担を押し付けることのないように、シビアに検討して欲しい旨のご助言を頂戴いたしました。将来の安定した下水道事業に向けて本日も、皆様から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。

前回の審議会の会議録を見ますと、皆さん方から本当に貴重なご意見、感想をいただきまして感謝を申し上げます。いろんな意味で、この情報を協議しながら、身をもって感じて、次の世代につなげたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(吉田経営課長)

ありがとうございました。

それではここからは当審議会委員会条例の規定により、境田会長の進行でお願いいたします。

(境田会長)

それでは、議長役を務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

議事3番の議事録署名人及び書記の指名についてでございます。私の方で議事録署名人と書記を指名させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

【一同同意】

それでは、議事録署名人は名簿順にお願いをさせていただきますので、小沢利彦委員と及川瑞江委員にお願いします。それから書記は、事務局にてお願いをいたします。

【協議】

(境田会長)

続きまして協議に入ります。第2回審議会の質疑について、事務局の説明をお願いします。

【配布資料に基づき、大越経営課課長補佐より説明】

(境田会長)

ただいま事務局より説明を受けましたが、委員の皆様から、これについてのご質問とかご意見ございますか。千田喜久雄委員はよろしいでしょうか。

それでは、ご理解をいただいたということで、以上質疑がないようですので、第2回審議会の質問について、を終わります。

続いて、(2)の下水道事業経営戦略の改定について、事務局から説明をお願いします。

【配布資料に基づき、大越経営課課長補佐より説明】

(境田会長)

それでは事務局の方から、改定版の概要版で説明を受けましたが、事前に資料について配布されていた内容にはなりますが、現時点で、委員の皆様からのご意見、ご質問を頂戴したいと思います。どなたかございませんでしょうか。はい、小沢委員。

(小沢利彦委員)

本編の20ページ、一般会計の繰入金のことを記載している。それが先ほどの説明でも、10年後、1億円増えるという話が出ています。結構努力しての数字だと思うんですけど、問題は一般会計繰入れということは、人口も減ってきている状態。行政区域内人口が、約4分の1ぐらい減る状態で、7万9千人ぐらいの人口。今は約11万人。その状態で一般会計の予算規模がどれぐらいの状態であって、そこから繰り入れしているのか、要は何%出しているのか気になった。金額はわかったんですけど、下水道以外にも出すと思うんですが、その辺のことが書いてなかったので教えてもらいたい。

(大越経営課課長補佐)

手元に一般会計側の細かい数値を持っていないからですが、全体でいうと、市の予算規模が600億円程度になっておるんですけども、そのうちの小沢委員さんからお話ありました通り、繰入金の全体額があった上で、さらに、我々の分という形になっておりますので、その部分につきましては戻って確認できれば、全体の額も確認できるかと思いますので、今この場での回答が難しくて申し訳ないところですが、あとでどれぐらいの割合になっているかについて、情報提供させていただければと思います。

(小沢利彦委員)

はい。あとは本編30ページの話なんですけど、結局29ページから見ると、事業的には極力抑えて行こう。公共下水からシフト替えをして、経費を抑えるお話はわかりました。ただこの表で見ますと、2023年から3年間は、新規事業、或いは変更した建設改良費が減っていくことにしていますが、本当に、大丈夫かというのを一応確認して、耐用年数、管が大分弱ってきて

るので、その辺を加味しても、この計画だったのかなと。更新も含めてお聞きしたいです。

(菅野下水道経営係長)

委員さんお話ありました通り、建設改良費ですけれども、多いところでは新規の管とか、あとは農集の公共接続工事もやっていくのがメインで推移しているんですが、以降は新設の方が少なくなる。まだ管渠で耐用年数を過ぎている管はこの期間では出てきてない形になりますので、実際の管渠の更新というのは、令和 25 年以降に少しずつ出てくる形になり、この計画期間では出てきていない。30 ページの上の表、2043 年以降、実際の管渠の耐用年数が超えてくるのが出てくるため、そこから今度は更新を考えていかなきゃならないことになります。

(境田会長)

小沢委員、よろしいですか。はい、佐藤委員。

(佐藤有紀委員)

前回欠席だったので、余計かもしれませんが、ちょっと質問させていただきます。

今後の方針で、下水道、公共下水道のエリア縮小というのは、何となく資料を見て、賛同したんですが、その前に 2017 年の前回の計画で、下水道をどんどん増やしていく方針があって、なおかつそのエリアも増やして、今以上の人が接続する将来を見通しとしていた。それで人口も多分見込みよりも減っている。それが現状として起こっているんですが、それに対して、作った部分、ちょっと表現悪いですけど、公共下水道の稼働率とか使用率とか、そういうのはどうなのか。それに対しては、今後増やさないにしても、維持管理とかコストかかっているんで、その分は、そのエリアに対しては何としても接続してもらう戦略を作らないと。多分その維持費だって、無駄になってかかってくるんじゃないかということが 1 つあります。

胆沢病院のそばの私の知人でいろいろと言う者がいまして、下水道に接続して相当かかったと。すぐそばの公共、なんか団地開拓しているのがすぐそばなのに、自分はやったけども、全部浄化槽にしたと言う話も、つい最近みたいな話を聞きました。その辺の戦略含めて、前回お話されたかわかりませんが、何ていうんですかね、浄化槽事業は、多分公共下水道に接続した場合のコストメリットが本当にそのエリアにいる人がやったほうがいいのかということで、何か戦略として具体的に今までもやったのか、これからも本当にやるつもりがあるのか。要するに今やることを改善しないと料金がどうのという話にならないと。ユーザーを重点的に考えていただいて、これからこの事業はどうなっていくかってことやらないと。この資料だと、何となく、先々の話が見えませんという気がしましたんで。

それから 1 つ質問したい。例えば、やりたくないと思ってる方々に対しても、今回だけは期間限定で、2 年間は特別にやるかとコスト下げるとか、そういう形で持っていけないと、やったことが無駄になるんじゃないかと思いました。

私がわかっていないのは、農業施設の公共下水道接続というのは、どんなことやってるのかよくわかっていない。これもいろいろと考えていると思うけど、具体的にどんなことなんですか。

(齊藤上下水道部長)

まず 1 点目の公共下水道の戦略的な部分ですが、接続率が悪い、2 割程度の人たちに利用されていない状況にあるのはその通りです。我々としても、そこを何とか利用していただくために、今回の提案とあわせて、概要版の真ん中、水洗化支援策の創設というもので、何とか皆さんの負担軽減を図ることもあわせて、制度を個別浄化槽に切り換えてくことだけじゃなくて、今ある公共下水道のエリアの未接続世帯の方に対しての、普及促進にも繋がるということで、こういった援助策を考えているところです。

(佐藤有紀委員)

こういうことを考える時に、市民というかユーザーの人にわからないといけない。考えてはいるでしょうけど、どんなことを考えているのか私はそれが知りたい。ここまで考えたんだから、例えばある期間は、2 割の人には特別に支援するとか、そういうことしないと。ずっと使ってもらわないといけないわけでしょ、ということだと思います。私の意見ですから。

要するにユーザーはどういうふうに思っていて、半分以上の人がやりたくないと思ってるのはなぜなんだという話が、本当にわかっているのですかと。わかっているんでしょうけども、予算もないとかいろいろあるかもしれませんが、そういうところをちょっとはつきりしないと。値上げは当然必要だと思いますけど。

これ縮小するエリアの位置がどうなってんだと、例えばここで 10 年ぐらい前に考えたけども、もう 2 割ぐらい流してくれればね。他のそういうのもあると思いますけど。だけど維持してかないかんわけでしょ。だから入れられるところは強引にでも入ってもらわないとまずいんじゃないかと私は思います。

(齊藤上下水道部長)

接続しない大きな理由は捉えておりまして、高齢者世帯で後継者がいないところが一番の原因になっている。公共エリアにおいても。それが一番多い。

(佐藤有紀委員)

それは見通しを誤った。

(齊藤上下水道部長)

公共のエリアは同意じゃなく、面的な整備として縛っている。

(佐藤有紀委員)

わかりますよ。すべてどうのこうの言ってるんじゃないくて、公共下水道はもうやらないようにしないと、それぐらいの人口減少とか高齢化だったら、やるところはほとんどない。

(齊藤上下水道部長)

そのためにアンケート調査を今回初めて実施している。

(佐藤有紀委員)

過去を責めてもしようがないんだけど、今あるだけでも、ぜひ入れる人は入れて、何とかしないと。せっかくいろいろ頑張っていることが、結果的に何も出てこないよと私は思います。

(齊藤上下水道部長)

その通りだと思います。我々もそこに向けては、考えていかないと。今後、3つの支援策をうまくそういった人に使ってもらえるように普及を考えていかなければならないと考えています。

2点目の農業集落排水ですが、農村地域のミニチュア版の公共下水道といったことで、これについては、法的なものじゃなくて、地区でそれぞれの加入の意思の取りまとめによってミニチュア版の下水道を作ってきた経過があります。

(佐藤有紀委員)

その運用母体はどこなのか。

(齊藤上下水道部長)

農水省の事業、公共下水道は国土交通省。農集排がどんどん小さくなってきて、コストもかかってくるから、公共下水道に接続、統合して、管理費を減らそうという戦略を打ってきている。

(佐藤有紀委員)

そうは考えているけれども、どうなるかわからない。

(齊藤上下水道部長)

今後はますます厳しくなっていく。前回のアドバイザーさんの意見を総合すれば、もう更新の時期を迎えたら、個別に切り替えるという方策も検討すべきというご意見は賜っているところ。切り換えについては市が各受益者と話し合いながら、今後の更新ができないといったご理解を賜っていかなければならない。

(境田会長)

2点の回答がありましたけれども、将来は未知数で、人口もこれから半分に、高齢化社会に迎えていくという中での、戦略になろうかなと思います。その他ございませんか。

はい。高橋委員。

(高橋寿幸委員)

公共下水道について、処理場は県の施設だったかと思うんですが、県の方では流域の施設の今後の計画というか、そういったものも合わせて、料金単価もどうなっているのか。あと、広域で事務処理を行う部分も今後計画があるのか、そこら辺お願いします。

(菅野下水道経営係長)

それでは広域の関係、流域下水道に関しては、奥州市の前沢以外のところの公共下水道は、県の下水浄化センターで処理しており、そちらが流域下水道となるんですが、流域下水道維持管理負担金というものがあるんですが、そちらはそこに接続している自治体が払わなければならないものです。基本的には3年に1度改定があるんですけども、来年度の2025年が改定時期になっておりまして、2024年度から比べますと、奥州市の負担が1億幾ら増えている形になっております。県の方も施設の老朽化などに対応していかなければならないので、市町村が負担してる維持管理負担金では足りないということでお願いされている状況です。

また県の流域の計画があるのですが、県の戦略については、2025年度に改定する予定と説明を受けております。

(齊藤上下水道部長)

2点目につきましては、共同運営とかそういった意味合いなのかと思いますけども、今後、コストとか減らしていく意味では、そういった手法を取っている県が増えてきているため、我々もそういった流域を核とした共同運営という議論をする時期に差しかかっているんじゃないかととらえています。ただ、現実として、まだそこまでは出来ていません。

今回の維持管理負担金の見直しにつきましても、県と我々との間で温度差がありました。我々とすれば県の流域の負担金が増えることは、もろに料金にはね返ってきますので、その辺をこれから3年間かけて、お互い議論して、良い道筋を立てようという条件をつけて今回の料金改定に了承した経過がありますので、今後それらを含めて、しっかり議論していきます。

(佐藤有紀委員)

先ほどの料金改定の説明がよくわかんなかったんで、もう一回説明してもらえますか。40年後にはどうのこうのっていう最後に補足したやつ。それと4年後の見直しとか、皆さんわかったのかな。料金改定を反対するわけではない。どれくらいのお金が、ユーザー負担がどんなふうになってくるんだろうかなって。

(大越経営課長補佐)

補足をさせていただくと、20 m³の月額、3,300 円が今の料金となっておるんですけども、現時点で経費回収率を100にしたいとなると、必要な料金は1万100円となります。そこに6,800円ほどの開きがある。それをいろんな繰入金であったりとか、他の形で埋めていることになるんですけども、そこを料金改定、要は皆さんからの料金だけで補おうとするとその6,800円を上げてかなきゃいけないという形になります。必要な1万100円までの料金改定を先ほどお話しした4年に1回、10%程度でやっていくとすると、その料金となるのが40年後となります。

(佐藤有紀委員)

それはわかります。それを説明するうえで、一般の人がどういうふうに理解されて、どうい

うことを思うかということ。

(大越経営課長補佐)

計算資料はあるんですけども、それを出してしまうとそちらが独り歩きする部分もあるかなと考え、委員の皆様には今回こういう形でご説明をさせていただいたところだったんですけども、その辺、内容をもう少し練らせていただいて、あと、佐藤委員さんから一般の受益者の方、払う人からしてみたら、どう言われたときにどういう感じを持つのかというところ、ユーザー目線という形かと思いますので、そこについては少しお時間いただいて内部で協議させていただければと思います。

(佐藤有紀委員)

そのように、願います。

(境田会長)

それでは、そのほかにも意見を頂戴したいんですが、佐藤久喜委員、何かご意見ございますか。

(佐藤久喜委員)

2割の人がつないでいないとか、アンケートをとっても半分の人がつながないというその理由をどのように把握してるのかに対して、どういう考えでこれから対応していったら、どういう意見が出たのか気になった。老人世帯でつなぐ意思がない。これに対して、市の方ではどういうふうに対応していくのかなと、先ほどあったように、どういう考えなのかっていうことを聞きたかったので、先ほどと同じです。

(境田会長)

ありがとうございます。伊藤委員、何かございますか。

(伊藤千恵委員)

切実に、すごいお金がかかっていくんだなっていうのをひしひしと感じてちょっとショックを受けているような状態なんですけど、特にこれというものはないです。

(境田会長)

その他、皆様の方からご意見、ご質問ありましたらお受けいたします。

それでは、事務局で準備している説明は以上で終わったわけですが、いろいろとご質問については、この場だけではなかなか消化しきれない部分もあるようでございますが、皆さんからご意見等頂戴いたしましたので、それでもって質問で回答できなかった部分については、対応をしていきたいと思っております。それではご意見、ご質問が出尽くしたなと私の方で判断したところでございますので、質疑を終了いたします。

それで、この状況についてまとめる作業に入るわけなんですけど、これまでの審議会での皆様

からご意見等から事務局案について、ある意味、強い反対意見というものは、見受けられなかったなと理解をいたしまして、概ね了承するものと察しました。軽微な修正箇所であるとか、そういうものにつきましては、事務局にまた整理検討をしていただきたいと思います。つきましては、当審議会といたしまして、了承することでご異議ございませんでしょうか。

【一同同意】

よろしいですか。それでは奥州市下水道事業経営戦略の改定を、異議なしということで、審議会として、事務局案を了承いたします。本日の審議は以上で終了となります。ありがとうございました。

【今後の審議会について】

(境田会長)

次に5番の今後の審議会について移ります。これについて事務局の説明をお願いいたします。

(大越経営課長補佐)

では私の方から、今日、追加という形でA4の資料、今後のスケジュールとして示させていただいておりましたので、こちらに沿って説明をさせていただきます。

①番、本日が第3回の運営審議会となっております。20日からとなっている作業を全部間に合うように頑張りたいと思っておるんですけども、今日皆さんに説明をさしあげた内容を、できる限りわかりやすい状態で動画にまとめて、公開できればと考えてございます。そちらをご覧いただいた方からの意見聴取を、2月の頭まで行えればということで、本日の協議結果も審議結果を受けながらという形にはなるんですけども、そのように対応したいと考えてございます。③番につきましては、先ほど事務局案を概ねご了解いただいたという形になりますので、予備日という形で今回書いてございましたけれども、こちらについては開催をしないということになります。続きまして④番、先ほどの意見聴取等々を含めた形の最終調整をさせていただいて、全員協議会、市議会議員への説明を、2月の下旬から3月の上旬で行いたいと考えております。それに基づきまして、最終的な経営戦略の決定を3月中旬、公表につきましては、3月下旬までに行いたいと考えているところでございます。

また、今回の経営戦略の内容について、周知ということで、動画などもうまく使っていきたいと思っておりますけれども、最終的には上下水道部で発行しております、おうしゅうの水を発行できればと考えているところでございます。配布につきましては、3月の公表という形になりますので、その内容を受けて、4月の中旬に配布できればと考えているところでございます。今後のスケジュールについては以上となります。

(吉田経営課長)

事務局案につきまして、この度、ご了承いただきまして誠にありがとうございます。下水道事業経営戦略の改定に関する審議会につきましては、本日をもって終了となります。長い期間ありがとうございました。本日いただいたご意見、それから来週から動画公開をするユーチューブチャンネルについての市民意見、これを踏まえまして、改めて字句を精査することになるかと思います。最終的に精査したものにつきましては委員の皆様にも、お配りしたいと思います。

ておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(境田会長)

ただいま事務局の方からスケジュールについて説明を受けましたが、委員の皆さんから何かございますでしょうか。

質疑がないようでございますので次に移ります。

【その他】

(境田会長)

その他でございます。事務局の方からは特にはないですか。委員の皆様から、何かその他で発言があれば、それではないようでございます。

【閉会】

(境田会長)

以上をもちまして、令和6年度第3回奥州市上下水道運営審議会を閉会いたします。ご苦労さまでした。ありがとうございました。

令和7年2月28日

議事録署名人

小沢 利彦

議事録署名人

及川 瑞江